

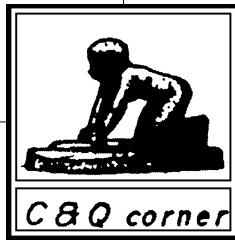
子供ができたお祝いにと、職場の先輩方から某社の水なし・自動調理器をいただいた。材料だけ放り込んでおくと、素材から出る水分を利用して荷崩れさせずにきれいにかけ混ぜながら自動で調理してくれるという優れものである。何よりもありがたいのはスタートボタンを押せばその後は放置でOKというところだ。料理中に子供が泣き出せば、一旦中断せざるを得ないが、この文明の利器はその煩わしさから開放してくれる。まさにQOLが急上昇で、贈って頂いた先輩方に感謝感謝である。さてこの文明の利器、私は「きれいにかけ混ぜてくれる」というところに興味を持ってしまった。粉体の混合はどうだろうかという馬鹿げたことを思いついてしまったのである。とはいえ普段研究に使っている怪しげな粉を使うわけにはいかず、何か良いサンプルは無いかと思っていたところ、塩コショウが切れたので買って置くようにと指令が下った。しかも都合の良いことに家には私一人だけの状況だ。この機会を逃すまい、そしてせっかくなら美味しいものを作りたいと粉碎前の岩塩、コショウと専用のミルを買ってきた。早速岩塩から調理器に投入を…始めたが粉碎作業が全くと言っていいほど進まない。あつという間に腕の疲労はピークに達したが、調理器の底には申し訳程度の塩があるだけだ。全てを粉碎して混合などいつになるか分からない。電動ミルの購入が頭をよぎったがさすがに思いとどまり、失意のうちに塩コショウを買いに行った。考えれば最初からわかることだが、思いついたら良く考えずに即行動してしまう悪いクセは40代になり子供ができて健在である。購入したペッパーホール、岩塩、ミルは部屋に隠した。欲しい方(証拠隠滅に協力してくれる方)いたら進呈いたしますのでお申し出ください。(如月二月)

中学生の頃、アイロンがけの授業を受けたとき、これがどれほど役立つことなのかまるで理解できなかった。学校備品の古びたアイロンを使って、ただひたすらシャツやズボンにアイロンをかける一時間。あの頃はただ早く終わらせて、友達と遊びたかった。

けれども時が経ち、まさかアイロンがけのスキルがこんなに役立つ日が来るとは思ってもみなかった。異国の地での講演やプレゼンテーションでは外見が印象を大きく左右することを痛感している。だからこそ、パリッとアイロンをかけたシャツを身にまとうことで、自信を持ってステージに立つことができる。日本の義務教育が教えてくれたアイロンがけの技術が、私の自己表現と信頼感を高めてくれるのだ。

異国の地でアイロンをかける夜、決まって思い出すのは名前を忘れた家政科出身の先生の顔。あの先生のおかげでこんなにもアイロンがけに感謝する日が来るとは夢にも思っていなかった。先生、お元気でしょか。

この経験は私に教育の意味と価値を改めて考えさせる。些細なことでも、今の自分を支える大切なスキルを学ぶ機会があったことに深く感謝したい。(南麻布ちゃん(28))



四分法

これって研究のこと?その1

今回も「ピタゴラススイッチ」の話を研究のことと絡めて書きたいと思う。前もってお断りしておくが、本記事は2部構成となっており、この「その1」は研究とは全然関係ない話である。さて皆さんは「がんばれ!装置153番のマーチ」をご存知であろうか。ピタゴラス装置のとある回の収録の際、失敗が続き漸く最後にフィニッシュまでたどり着くという過程を歌にしたもので動画サイトでも見る事ができる。歌っているのはデーモン閣下である。気になって調べてみると我々の世代は「デーモン小暮」氏と認識していたが2010年からデーモン閣下と改名して活動されているようだ。今の若い世代には悪魔兼歌手というよりも相撲に造詣の深いタレントと認識されているのではないだろうか。閣下の現在の年齢は10万60才でめでたく還暦を迎えられたそう。還暦とは「干支(えと)が一回りして元に還ること」とは知っていたが少し調べてみた。干支は十二支の子・丑・寅…と十干(じっかん)甲・乙・丙…の組み合わせで決まる、とある。?120通りあるはず。なんで60年で一回り?さらに調べる。干支で甲乙なんて聞いたことないぞ、丙午(ひのえうま)とかだろ?十干の方は五行の木火土金水と陰陽を表す兄(え)と弟(と)の組み合わせで表すのですね。だから「ひのえ」は火の陽=3番目の丙の字で表すのか、なるほど。十干・十二支の組み合わせは120通りであるが、干支の前の部分である十干も後の十二支も順に進むので「ひのとうま」等は無いということか。60という数字は10と12の最小公倍数だからなのね。勉強に陥りました。もちろんこれは人間界の話である。果たして閣下のお生まれになった地獄ではどんな数の最小公倍数で10万60年還暦となっているのか興味は尽きない。(その2へ続く) (炭水化物)

四分法

これって研究のこと?その2

そろそろ本題に入りたい。「がんばれ!装置153番のマーチ」のことである。テイク1では全体の半分を過ぎた辺りであろうか、発砲スチロールが滑って球を押し出すという仕掛けの所で球に上手く当たらず止まってしまう。「この箇所をクリアできれば…」とスタッフも思ったであろうが次テイク以降は歌詞にもある通り「失敗失敗失敗の連続」である。何とまさかの失敗、またまたここで失敗、これは凄い失敗、今度はどうもいってろぞ→なんとまさかの失敗!予想外の失敗。心がくじけそう。(全て歌詞より) 予期せぬところで予期せぬ失敗が続きます。これってまさに研究のことと言ってませんか?一番最初って意外と上手くいきませんか?「もうここクリアすれば良いだけ」というような感触を掴んで次やるとさっきと違うところで失敗(人によっては実験に失敗という表現は正しくないという方もおられますが)する。トライするたびに違う箇所で予期せぬことが次々と起こる。「心がくじけそう」分かります、まさに今その状態です。歌詞の続きは、「気が付けばもう54回目、準備が大事諦めるな、次こそどうかきつと…」分かるなあ。そしてついに「あらゆる失敗乗り越えて」フィニッシュに至ります。関係者各位まことにおめでとうございました。さて自分の研究の方に目を向け実験ノートを見返すと54回の試行など優に超えております。私の研究がフィニッシュにたどり着くのは一体いつのことやら…。でも準備が大事諦めるなですよ。(炭水化物)

一般社団法人 日本粉体工業技術協会 本部：〒600-8176 京都市下京区烏丸通り六条上ル北町 181 番地 第5キョートビル7階  
 TEL 075-354-3581 FAX 075-352-8530  
 一般社団法人 日本粉体工業技術協会 東京事務所：〒113-0033 東京都文京区本郷 2-26-11 種苗会館5階  
 TEL 03-3815-3955 FAX 03-3815-3126

◆ 協会行事日程のご案内

最新情報は協会サイト (<https://www.appie.or.jp/>) でご確認ください。

行事名	月日	場所	備考
粉体技術者養成講座 粒子加工	11月15日(水)～16日(木)	大阪／(株)ダルトン	1日目 13:00～16:35 2日目 9:00～15:05
粉体技術者養成講座 粉砕	11月28日(火)～29日(水)	愛知／杉山重工(株)	1日目 10:00～17:25 18:00～20:00 交流会 2日目 9:00～17:00
粉体技術者養成講座 集じん	12月5日(火)～6日(水)	名古屋／ウインクあいち	1日目 13:00～18:10 18:30～20:30 交流会 2日目 8:50～14:35
粉体技術者養成講座 ろ過	2024年 1月22日(月)～23日(火)	大阪／関西金網(株)	

◆ 分科会の開催案内

会員の方ならどなたでも参加できます。非会員の方でも参加できますので、参加を希望される場合は、各分科会の申込み先あるいは協会本部までお問合せください。分科会の活動状況と詳しい開催案内は協会ホームページでご確認ください。

行事名	月日	時間	場所
第2回食品粉体技術分科会	11月10日(金)	13:00～17:05	兵庫／キューピー(株)神戸工場
第2回混合・成形分科会	11月22日(水)	13:00～17:00	愛知／新東工業(株)豊川製作所

■ 第2回晶析分科会

結晶成長を取り扱う場合、核の生成とそれに続く成長の過程を分けて考えるのが一般的ですが、外部から与えられたエネルギーにより、高効率・高選択な成長プロセスを得ることができる特殊反応場についての講演会を企画しました。ご多用とは存じますが、多くの皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

開催日時：12月15日(金) 13:30～16:30(講演会)  
 16:45～18:30(交流会)

開催場所：講演会：同志社大学 大阪サテライト(梅田)  
 大阪市北区梅田1-12-17 JRE 梅田スクエアビル17階  
[https://www.doshisha.ac.jp/information/access/index.html#access\\_osaka\\_o](https://www.doshisha.ac.jp/information/access/index.html#access_osaka_o)  
 交流会：居酒屋 餃子のかっちゃん 梅田お初天神店  
<https://gyozanokacchan.owst.jp/>  
 着席形式、感染拡大の場合、交流会は中止とします。

定員：30名

参加費：日本粉体工業技術協会会員および協賛会員 5,000円 [うち消費税等454円]  
 非会員 7,000円 [うち消費税等636円]  
 学生 3,000円 [うち消費税等272円]  
 [消費税等込/税率10%]

登録番号：T8130005012383

プログラム：

13:00～13:30 受付  
 13:30～13:35 開会挨拶

- 13:35 ~ 14:25 マイクロ流路による流動制御と晶析操作  
京都大学大学院 工学研究科 化学工学専攻 教授 外輪 健一郎 氏
- 14:25 ~ 14:35 休憩
- 14:35 ~ 15:25 レーザー結晶化技術の開拓およびその制御機構の解明  
大阪大学大学院 工学研究科 物理学系専攻 教授 吉川 洋史 氏
- 15:25 ~ 15:35 休憩
- 15:35 ~ 16:25 Na フラックス法による大口径・高品質 GaN 結晶成長  
大阪大学大学院 工学研究科 電気電子情報通信工学専攻 教授 森 勇介 氏
- 16:25 ~ 16:30 閉会挨拶

**参加申込**：下記をご記入の上、E-mailにてお申し込みください。

\*\*\*\*\*

件名：2023 年度第 2 回晶析分科会（12 月 15 日）参加申し込み

（本文）

上記講演会への参加を申し込みます。

御氏名：

御所属：

御役職：

御住所：

Tel：

E-mail：

会員種別：日本粉体工業技術協会会員および協賛会員名  
または非会員

交流会：参加または不参加

\*\*\*\*\*

**申 込 先**：一般社団法人日本粉体工業技術協会 晶析分科会 代表幹事 伊藤 雅章

E-mail: crystallization@n.noritake.co.jp

**申込締切**：2023 年 12 月 6 日（水）

#### 注意事項

ご参加にあたり、以下感染防止対策にご協力ください。

- ・発熱・咳等の症状がみられる場合は出席をご遠慮ください。
  - ・会場へ入室する際に手指を消毒してください。
  - ・受付の際、検温（非接触）にご協力ください。
- 37.0°C 以上の方につきましては、参加をご遠慮いただく場合もございます。
- ・休憩時間以外にも換気をさせていただく場合もございます。

インボイス制度対応のため、領収書の書式が変わりました。同一企業から複数名お申込み等で個人名が必要な場合は、お申込時にご連絡ください。

#### 個人情報の管理について

いただいた個人情報は当分科会が責任をもって管理し、当分科会と日本粉体工業技術協会からの案内のみに使用します。他の用途には一切使用しません。

◆ **粉体関連総合情報誌「粉体技術」**

日本粉体工業技術協会が発行する月刊「粉体技術」は、粉体に関わるあらゆる技術、粉体領域に関する最新情報、マーケティング・マネージメントおよび海外情報など幅広い内容を網羅した**粉体関連産業に携わる方々への総合情報誌**です。一般の書店などでは容易に入手できませんので、ぜひ予約購読をお願い致します。

申込み先：協会ホームページ「粉体技術」ページ (<https://www.appie.or.jp/>)

**2023年11月号（予定）**

<巻頭言>.....	東北大学 加納 純也
<粉の最前線>.....	(株)リコー 森谷 樹
<特集>混合・成形特集	
特集「混合・成形特集」を企画して.....	混合・成形分科会 鈴木 道隆
日本粉体工業技術協会『混合・成形分科会』の活動報告.....	混合・成形分科会 藤井 淳, 朝日 正三
混合・混練の最近の動向.....	混合・成形分科会 鈴木 道隆
シミュレーションを用いた粒子挙動解析による混合機設計	
.....	東北大学 多元物質科学研究所 久志本 築, 加納 純也
粉体プラント（粉体操作）におけるロボットミキシングシステム <sup>R</sup> .....	OMC(株) 堀井 知弘
医薬品製造における混合操作～混合の基礎を踏まえて～.....	シオノギファーマ(株) 六車 嘉貢
連続混合システムの開発.....	(株)菊水製作所 伏見 伸介
粉体成形体の本質とちょっと気になる成形方法の紹介.....	名古屋工業大学 藤 正督, 石井 健斗
金属 3D プリンターによる粉体造形	
.....	兵庫県立大学金属新素材研究センター 柳谷 彰彦, 兵庫県立工業技術センター 山崎 徹
<現場で使える粉体入門講座>第8回分級（ふるい分け）.....	関西金網(株) 石川 敏
<現場ルポ>オーカワラテック株式会社.....	「粉体技術」編集委員会
<連載>	
海外市場情報.....	トリプルエーマシン(株)
トレンドを掴む	
.....オペレーショナルデザイン(株) 取締役デザイナー（沼津信用金庫 参与／富士宮信用金庫 監事） 佐々木 城彦	
粉体カルテットのティータイム.....	粉体カルテット
<お知らせ>	

■■ 協会行事予定の詳細はホームページ (<http://www.appie.or.jp/>) でご確認ください ■■

## 粉体工学会 行事予定

## ☆ 主催行事

開催期日	行 事	会 場	掲載巻・号
2023年			
11月6日(月)	2023年度第1回粉体グリーンプロセス研究会	姫路駅前じばさんびる(兵庫)	60巻10号
11月15日(水) } 16日(木)	2nd International Symposium on Powder Processing Technology for Advanced Ceramics (ISPPTAC) -2	横浜国立大学総合図書館メディアホール(神奈川)	本号
11月20日(月) } 21日(火)	第40回製剤と粒子設計シンポジウム【参加募集・プログラム】	アクリエひめじ(兵庫)	60巻10号
11月28日(火)	2023年度粉体の機械的単位操作に関する討論会・見学会(第二回)	東京農工大学(東京)	本号
12月15日(金)	2023年第1回『ソフト粒子・界面研究会』(通算第9回)講演会	同志社大学今出川キャンパス(京都)	本号

## ☆ 特別協賛行事

開催期日	行 事	会 場	掲載巻・号・URL
2023年			
11月8日(水) } 10日(金)	第60回粉体に関する討論会【講演募集】	東京ガーデンパレス(東京)	60巻7号

## ☆ 共催, 協賛, 後援行事

開催期日	行 事	会 場	問合せ先	TEL (FAX) E-mail URL
2023年				
11月1日(水) } 30日(木)	第76回表面科学基礎講座 ～表面・界面分析の基礎と応用～	オンライン開催	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp <a href="https://www.jvss.jp/">https://www.jvss.jp/</a>
11月7日(火) } 9日(木)	第44回日本熱物性シンポジウム	日本大学 生産工学部 津田沼キャンパス(千葉)	日本熱物性学会	047-469-5238 info2023@jstsp-symp.org
11月14日(火)	第2回大阪公立大学全固体電池研究セミナー「低炭素社会貢献に向けたMOF電極材料の開発」	大阪公立大学 I-site なんば (ハイブリッド開催)	大阪公立大学研究推進機構全固体電池研究所	<a href="https://forms.gle/igD5aRBpMirKGqpN8">https://forms.gle/igD5aRBpMirKGqpN8</a>
11月15日(水)	2023年度静電気学会講習会 静電気災害の事例と対策(1)～基礎・計測・除電技術, 液体災害, 粉体災害～	静電気学会	オンライン開催	03-3815-4171 (03-3868-3339) iesj@iesj.org <a href="http://www.iesj.org/">http://www.iesj.org/</a>
11月27日(月) } 28日(火)	第32回微粒化シンポジウム	同志社大学今出川校(京都)	日本液体微粒化学会・日本エネルギー学会	06-6879-7253 thori@mech.eng.osaka-u.ac.jp

12月1日(金)	第54回エンジニアリングセラミックスセミナー	東京大学浅野キャンパス武田先端知ビル武田ホール(東京)	日本セラミックス協会 エンジニアリングセラミックス部会	encera@cersj.org <a href="https://www.ceramic.or.jp/bkouon/index_j.html">https://www.ceramic.or.jp/bkouon/index_j.html</a>
12月4日(月)	第18回若手シンポジウム～材料分野の仕事と研究の魅力～	同志社大学 大阪サテライトキャンパス(大阪)	日本材料学会関西支部	075-761-5321 (075-761-5325) wakate-kansai@office.jsms.jp
12月7日(木)	Salt & Seawater Science Seminar 2023 母なる海の恵み～海水からのものづくり～	塩事業センター 海水総合研究所(神奈川)	塩事業センター 海水総合研究所	0465-47-3161 kouenkai@shiojigyo.or.jp <a href="https://www.shiojigyo.com/institute/event/ssss/">https://www.shiojigyo.com/institute/event/ssss/</a>
12月12日(火)	2023年度静電気学会講習会 静電気災害の事例と対策(2)～静電気リスクアセスメントの基礎と演習～	静電気学会	オンライン開催	03-3815-4171 (03-3868-3339) iesj@iesj.org <a href="http://www.iesj.org/">http://www.iesj.org/</a>
12月15日(金)	第2回晶析分科会	同志社大学 大阪サテライト(大阪)	日本粉体工業技術協会 晶析分科会	crystallization@n.noritake.co.jp
2024年				
2月20日(火)	物性FGセミナー2023 X線を用いた原薬・製剤の評価	タワーホール船堀小ホール(東京)	日本薬剤学会	03-5498-5159 (03-5498-5159) fg.bussei@gmail.com <a href="http://bussei-fg.com/">http://bussei-fg.com/</a>
4月16日(火) } 17日(水)	第41回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会	早稲田大学国際会議場(東京)	日本空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) jaca@jaca-1963.or.jp <a href="https://www.jaca-1963.or.jp/">https://www.jaca-1963.or.jp/</a>

## ▶ 会員 消息

入会者：2023年9月入会(敬称略)

### 個人会員

李 碩 (Li Shuo) 東京大学大学院  
山本 卓也 大阪公立大学大学院

### 学生会員

中井 大 京都工芸繊維大学  
松川 駿介 昭和大学  
加藤 直行 大分工業高等専門学校  
山崎 理子 横浜国立大学  
金本 泰地 千葉大学

退会者：2023年9月退会(敬称略)

### 事業所会員

帝人ファーマ株式会社

## 2<sup>nd</sup> International Symposium on Powder Processing Technology for Advanced Ceramics (ISPPTAC)-2 のご案内



先進セラミックスの品質向上と高機能化を実現するためには、その製造プロセスの向上や革新的なプロセスの開発が不可欠です。特に、セラミックスの製造プロセスのほとんどは粉体を出発原料として用いているため、粉体プロセスに関する研究開発がこれらの課題解決のためのキーテクノロジーとなります。本学会では、2019年11月20～21日に、ホソカワ粉体工学振興財団の助成を受けて、中国上海の Shanghai Institute of Ceramics にて International Symposium on Powder Processing Technology for Advanced Ceramics (先進セラミックスの粉体プロセスに関する国際シンポジウム)を開催し、先進セラミックスのために必要な粉体プロセスの科学と技術について活発な議論がなされました。これをさらに発展させることを念頭に、下記のように第2回シンポジウムを開催することになりました。このシンポジウムでは、先進セラミックス分野の粉体プロセス研究に関する国際的な研究開発動向に焦点を当てた講演と討論を行うことを目的とします。

**日 時**：2023年11月15日（水）～16日（木）

**場 所**：横浜国立大学総合図書館メディアホール  
横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

**ウェブサイト**：<https://ceramics.ynu.ac.jp/ISPPTAC-2/index.html>

**主 催**：（一社）粉体工学会

**共 催**：横浜国立大学、ホソカワ粉体工学振興財団  
（一社）粉体工学会 粉体材料設計研究会

**協 賛**：非営利活動法人 富士山からはじまる天然顔料と粉砕の研究会

**参加費**：無料

**参加申し込み方法**：御所属とお名前を記載して下記宛てにメールをお送りください。

申込先：横浜国立大学大学院環境情報研究院多々見研究室 小池 弘子

E-mail: [ispptac-2@ynu.ac.jp](mailto:ispptac-2@ynu.ac.jp)

**プログラム**（すべて招待講演）

### 11月15日

9:30 Opening ceremony

9:45 Technological Innovation-Driven Strategies in Achieving the Sustainable Development Goals (SDGs) through Net-Zero GHG Emissions

Dr. Mrityunjay Singh (President and CEO, Global Alliance for Technology and Society, USA)

10:15 Static and Dynamic Rearrangement of High-Nickel Cathode particulates in dry coating for a high energy density Lithium Ion Battery

Prof. Ungyu Paik (Hanyang University, Korea)

10:45 休憩

11:00 High Throughput Screening Platform for Discovery of Inorganic Luminescent Materials: with Two Cases

Prof. Qian Liu (Shanghai Institute of Ceramics, P.R.China)

11:30 Photocurable suspension design for rapid manufacturing of 3D-structured ceramic components

Prof. Motoyuki Iijima (Yokohama National University, Japan)

12:00 休憩

13:30 New activities in self-healing of ceramics and their value

Prof. Wataru Nakao (Yokohama National University, Japan)

14:00 Recent particle scale simulation methods for powder processing

Prof. Yansong Shen (University of New South Wales, Australia)

14:30 Regulating Li electrodeposition for reliable and robust anode-free all-solid-state batteries

Prof. Taeseup Song (Hanyang University, Korea)

15:00 休憩

15:15 Development of high thermal conductivity  $\text{Si}_3\text{N}_4$  ceramics from tape casting and gas pressure sintering

Prof. Jingxian Zhang (Shanghai Institute of Ceramics, P.R.China)

15:45 Micro-scale mechanical properties of surface layer in ion-exchanged glass

Dr. Tatsuki Ohji (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, Japan)

16:15 1日目終了



## 11月16日

- 9:15 Fabrication of High Performance  $\text{Si}_3\text{N}_4$  Ceramics with Radial Grain Alignment Using Centripetal Sinter-Forging  
Prof. Hua Tay Lin (GuangDong University of Technology, P.R.China)
- 9:45 Room-temperature densification of MgO bulk ceramics with dispersed nitride phosphor particles  
Dr. Takuma Takahashi (Kanagawa Institute of Industrial Science and Technology, Japan)
- 10:15 休憩
- 10:30 Long-term stability of zirconia and its applications  
Prof. Wei-Hsing Tuan (National Taiwan University, Taiwan)
- 11:00 Smart Powder Processing for Sustainable Society  
Prof. Makio Naito (Osaka University, Japan)
- 11:30 OCT operando observation of internal structure of ceramics for powder process informatics  
Prof. Junichi Tatami (Yokohama National University, Japan)
- 12:00 Closing ceremony
- 13:00 横浜国立大学研究室見学会

このシンポジウムと同時に、『非営利活動法人 富士山からはじまる天然顔料と粉砕の研究会』による日本画ワークショップ（参加費無料）が開催されます。



## 2023 年度 粉体の機械的単位操作に関する討論会・見学会（第二回）



粉体工学会・機械的単位操作に関する産学連携研究会では、粉体の機械的単位操作をキーワードに講演者と参加者間の高度な議論・交流を促すことを目的とし、参加人数を比較的少人数に限定して討論会・見学会を開催しております。本年度は、微粒子およびナノテクノロジーに関して幅広くご研究されている東京農工大学・神谷秀博先生の研究室を見学させて頂く機会を頂戴しました。また、粉体単位操作に関する招待講演（山形大学・木俣光正先生）を併せて開催致します。粉体の単位操作のみならず材料開発・分析評価に関係する幅広い技術・研究者の活発な情報交換の「場」となるよう、皆様のご参加をお待ちしております。

**主催：**粉体工学会 機械的単位操作に関する産学連携研究会

**後援：**粉体工学情報センター

※本講演会は粉体工学情報センターからの助成により開催いたします。ご関係の皆様には厚く御礼申し上げます。

**日時：**2023年11月28日（火）13:00～17:00

**場所：**東京農工大学 大学院生物システム応用科学府（BASE）神谷研究室

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

**定員：**30名（先着）

### プログラム：

【11月28日（火）】

- |             |  |                             |
|-------------|--|-----------------------------|
| 13:00～13:10 | 開会挨拶                                       | 研究会代表幹事 大川原化工機株式会社 根本 源太郎 氏 |
| 13:10～14:00 | 招待講演-1 「高流動性粉体の流動性評価装置の開発」                 | 山形大学 木俣 光正 氏                |
| 14:00～14:10 | 休憩   |                             |
| 14:10～15:50 | 招待講演-2 「微粒子、ナノ粒子間相互作用の制御による付着・凝集挙動設計とその応用」 | 東京農工大学 神谷 秀博 氏              |
| 15:50～16:00 | 休憩   |                             |
| 16:00～17:00 | 施設見学（神谷研究室）                                |                             |
| 17:00       | 閉会挨拶                                       | 研究会幹事 大分工業高等専門学校 尾形 公一郎 氏   |

**参加費：**1,000円（税込、当日現地で申し受けます）


**申込方法：**研究会 HP 内のフォームからお申込み下さい。粉体工学会ホームページから「学会活動」→「部会・研究会・勉強会・ワークショップ」の順にお進み頂き、「機械的単位操作に関する産学連携研究会」HPへアクセス下さい。「単位操作」「産学連携」のキーワードでweb検索頂けますと下記研究会 HP へのアクセスに便利です。右 QR コードでも申込ページへアクセスできます。



研究会ウェブサイト：<http://www.che.kyutech.ac.jp/chem21/iacmuo/overview.html>

**申込〆切：**2023年11月24日（金）

**お問合せ：**（申込担当）九州工業大学 馬渡 佳秀（TEL: 093-884-3385, E-mail: mawat@che.kyutech.ac.jp）



## 粉体工学会 2023 年第 1 回『ソフト粒子・界面研究会』 (通算第 9 回) 講演会のご案内

下記の通り、粉体工学会 2023 年第 1 回『ソフト粒子・界面研究会』(通算第 9 回)を対面で開催します。  
興味のある方は、是非、ご参加下さい。

開催日：2023 年 12 月 15 日 (金)

開催地：同志社大学今出川校地 良心館 RY412 教室

アクセス：<https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/imadegawa/imadegawa.html>

お問い合わせ：hshintou@fukuoka-u.ac.jp

### ◇プログラム◇

15:00 ~ 15:05 開会挨拶と趣旨説明

15:05 ~ 16:05 講演 1 『格子ボルツマン法による粒子分散系の流れシミュレーション』 三野 泰志 氏 (岡山大学)

16:05 ~ 16:30 休憩

16:30 ~ 17:30 講演 2 『音響バブルの運動とそれに伴う乳化現象』 山本 卓也 氏 (大阪公立大学)

17:30 ~ 17:35 閉会挨拶

○ 参加申込： 下記 Web ページより、お申し込みください。

(参加費無料, 申込締切：2023 年 12 月 10 日 (日) 23:59)

<https://forms.gle/7Sz7xjcEYyoB2Zq27>

### 一般社団法人粉体工学会 2023 年度秋期研究発表会 ベストポスター賞 (BP 賞) 受賞者

粉体工学会ベストポスター賞 (BP 賞) は、本会の秋期研究発表会において、発表の内容および方法が特に優れていたと認められた 36 才未満の発表者に贈られます。

2023 年度秋期研究発表会における受賞者は、審査委員会による厳正な審議の結果、次の方々に決まり、秋期研究発表会の第 2 日目に賞状ならびに副賞として盾および図書券が授与されました。なお、本 BP 賞は、粉体工学情報センターの助成を受けています。

泉 健人 (早稲田大学大学院創造理工学研究科)

発表演題：乾式粉碎・分級プロセスを用いたリチウムイオン電池正極活物質粒子のダイレトリサイクルの検討

今吉 優輔 (大阪公立大学大学院工学研究科)

発表演題：有限要素法による高速粉体圧縮プロセスにおける成型不良の発生予測

大城 優作 (同志社大学大学院理工学研究科)

発表演題：化学反応による Pt 触媒粒子の集団運動からの仕事の取り出し

三角 薫花 (岡山大学大学院環境生命自然科学研究科)

発表演題：鉛直振動粉体層の流動・圧密挙動に対する加振条件の影響

山下 俊輝 (広島大学大学院先進理工系科学研究科)

発表演題：三元触媒ナノ粒子のポーラス構造化と触媒性能評価



## 技術賞受賞者

粉体工学会 2023 年度技術賞は、大阪で開催された秋期研究発表会・粉体技術セッションの中で、内容および方法が特に優れていたと認められた発表者・企業に贈られました。受賞者は、審査委員会による厳正な審議の結果、次の方々に決まり、秋期研究発表会終了後、同時開催の国際粉体工業展大阪 2023 レセプション会場にて、賞状ならびに副賞として盾が授与されました。なお、本技術賞は、(一社)日本粉体工業技術協会の助成を受けています。

豊田 直見, 岡寺 俊彦, 山口 剛, 澤田 均 (日本メナード化粧品株式会社),  
花田 賢志 (科学技術交流財団), 櫻井 郁也 (名古屋大学)  
放射光 X 線 CT を用いたプレストファンデーション内部構造観察技術の開発

## 一般社団法人粉体工学会

## APT Outstanding International Contribution Award 2022 受賞者

粉体工学会 APT Outstanding International Contribution Award は、本会英文誌編集委員もしくは査読者 (Reviewer) として英文誌の論文審査に関わり、その優れた審査実績により、顕著な貢献があったと認められたかた (個人) に贈られます

第 6 回 2022 年

堀田 裕司 (国立研究開発法人産業技術総合研究所)

野村 俊之 (大阪公立大学大学院)

吉田 幹生 (同志社大学)

Professor Lato Pezo (Institute of General and Physical Chemistry, Serbia)

佐藤根 大士 (兵庫県立大学大学院)

Professor Shibo Kuang (Monash University, Australia)

この記事を書いている2023年9月には、バスケットボール男子W杯が開催された。日本チームは1次ラウンドを突破できなかったものの、初めて欧州勢から勝利を挙げただけでなく、アジア勢最上位となり、来年開催となるパリ五輪の出場権を自力で獲得した。本種目の五輪への自力出場は1976年モントリオール五輪以来の48年ぶりの快挙だそうである。著者は、普段バスケットボールの試合を見る機会があまりなく、知識不足であったが、毎試合とても楽しく観戦した。ただ、試合を見ていて気付いたことがある。バスケットシューズ(バッシュ)だ。バッシュは、一時期、若者のファッションアイテムとしてブームにもなったが、当時はもれなくハイカット(くるぶしが隠れる構造)であった。今年8月まで上映され、大ヒットとなったバスケットアニメ映画内の選手もハイカットを履いている。しかし、W杯ではローカット(くるぶしが隠れない構造)を履く選手も多く見受けられた。とても不思議に思い、色々調べたところ、現在は復刻版を除き、ハイカットのバッシュの新モデルは徐々にリリースされなくなっているようだ。理由は、かつてはハイカットにより捻挫などを防ぐ効果があると考えられていたが、現在はその効果はあまりないとされ、機動力を上げるため足首の自由度が高いローカットが好まれるためのものである。同様に粉体工学の分野でも、一昔前は常識だと思われていたことが、皆さんの研究成果により常識が塗り替えられていくこともあると思う。皆さんの素晴らしい研究成果を、是非とも研究発表会でご発表、ならびに、本誌へご投稿ください。お待ちしております。(粉体工学の新常識)

本会誌は会員の皆様の原稿でつくられます。会員の皆様方からの論文のほかに、解説、総説、技術資料、講座・講義、学位論文紹介、海外報告、四分法等の一般記事のご投稿もお願いいたします。投稿表紙ならびに投稿規程および投稿の手引きは当会のホームページ(<http://www.sptj.jp>)よりダウンロードできます。投稿規程と投稿の手引きは、1号に掲載しています。

## 編集委員

委員長	飯村 健次	
副委員長	田原 耕平	
編集委員	芦澤 直太郎	飯島 志行
	石田 尚之	岩崎 智宏
	荻 崇	門田 和紀
	加納 純也	小澤 隆弘
	近藤 光	高井 千加
	田中 秀和	丹野 賢二
	中村 圭太郎	仲村 英也
	松永 拓郎	山本 徹也
	吉田 幹生	渡邊 哲
事務担当	奥村 しのぶ	

## ◆ 次号予告 ◆

巻頭言	米粉の活用と粉体技術	羽倉 義雄
論文	連続式二軸造粒機における充填率と結合液添加率が造粒プロセスに与える影響に関する実験および数値解析	松下 美卯 他
小特集 「材料表面の精密評価・設計による高機能化」		
解説	「材料表面の精密評価・設計による高機能化」小特集について	田中 秀和 他
解説	ステンレス鋼の不動態皮膜と表面改質	王 栄光
解説	貴金属ナノ粒子の無電解置換析出とシリコン表面高機能化への応用	八重 真治 他
解説	シリカの表面評価法—表面水酸基を中心に—	武井 孝
解説	XAFSによる粉体触媒の表面構造解析	久保田 岳志
解説	化学気相析出法による材料の表面改質による高機能化	伊藤 暁彦

## 粉体工学会誌

令和5年10月30日印刷

令和5年11月10日発行

© The Society of Powder Technology, Japan

第60巻 第11号(通巻654号)(2023)

一般社団法人粉体工学会：〒600-8176 京都市下京区烏丸通六条上ル北町181 第5キョートビル7階  
 TEL: 075-351-2318 FAX: 075-352-8530  
 No. 5 Kyoto Bldg., 181 Kitamachi, Karasuma-dori, Rokujo-agaru, Shimogyo-ku, Kyoto 600-8176, Japan  
 E-mail: office@sptj.jp(庶務) kaishi@sptj.jp(和文誌編集) URL: <http://www.sptj.jp>

編集兼発行人：一般社団法人粉体工学会(代表理事会長 後藤 邦彰)

印刷所：中西印刷株式会社

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

TEL: 075-441-3155 FAX: 075-417-2050 E-mail: funtai@nacos.com